

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 477 事業名 高付加価値推進事業（建具や家具見本市の共催、伝統的工芸品の紀州産物など地場産品の高付加価値化促進による需要開拓）

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	2	商工業の振興
取組	1	地場産業の高付加価値化と販路拡大

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		通商産業振興費	
	大事業		通商産業振興事業	
事項		高付加価値推進事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	商工まちおこし課	野口 滋 (435-1233)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か） 各種見本市、展示会等に参加し、本市主要物産品の優秀性のPR及び販路拡張に努め、地域産業の活性化を図る。	事業内容				
		・伝統的工芸品産業振興協会関係負担金 賛助会費 月間事業負担金 伝統的工芸品展WAZA出展負担金 計 571,200円 ・2011 伝統工芸ふれあい広場 ふくしま津若松 月間事業の中心催事として開催。 ①製作体験・実演 ②パネル展示（地域の名産品や名所、育まれてきた工芸品の写真を展示） ・伝統的工芸品産業振興協会主催「伝統的工芸品展WAZA2012」へ紀州桐箆箆出展（H24.2.23～2.28 東武百貨店池袋店）商談件数 2件 ・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を近鉄百貨店で開催 H23.8.4～8.10 来場者 約1500人 商談件数 5件 <small>和歌山県建具事業協同組合との共催によりわかやま建具フェアを開催</small>				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		・和歌山県建具事業協同組合との共催によりわかやま建具フェアを開催 ・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催 ・紀州桐箆箆協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 ・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	・和歌山県建具事業協同組合との共催によりわかやま建具フェアを開催 ・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催 ・紀州桐箆箆協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 ・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	・和歌山県建具事業協同組合との共催によりわかやま建具フェアを開催 ・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催 ・紀州桐箆箆協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 ・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担		

2 事業コスト

事業費 千円			平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		2,782	2,389	2,790	2,605	2,653	2,478	2,717	2,717	2,717	2,717
	伸び率 (%)		-	-	0.3%	-	-4.9%	-	2.4%	-	0.0%	-
	人件費	常勤職員	5,037	5,576	5,037	5,464	4,719	5,869	5,869	5,869	5,869	5,869
		非常勤職員										
	小計		5,037	5,576	5,037	5,464	4,719	5,869	5,869	5,869	5,869	5,869
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源（税等）		2,782	2,389	2,790	2,605	2,653	2,478	2,717	2,717	2,717	2,717	
所要人数	常勤職員	0.66	0.73	0.66	0.72	0.63	0.78	0.78	0.78	0.78	0.78	
	非常勤職員											

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	各種展示会開催・出展数					年度目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3	3	3	3	3
	単位	事業	全体目標値	3	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			
							年度目標値				
							実績値				
						年度別達成度					
成果指標	各種見本市出展企業数					年度目標値	13	13	13	13	13
						実績値	13	11	11		
	単位	社	全体目標値	13	全体目標達成度	100.0%	84.6%	84.6%			
							年度目標値				
							実績値				
						年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	各種展示会や見本市に出展することで、県内外の消費者やバイヤーに当市地場産品の優秀性をPRすることができた。今後も継続して開催し、引き続き付加価値を高めていく必要がある。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	